

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和5年度事業計画書

事業区分		事業名	実施時期	対象	決算(円)	予算(円)	摘要
(1)教育事業	継	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(座学・現地見学)	10月	宇小6年児童		0	状況により原稿作成まで
	継	②(国史跡)宇佐美学園見学支援	5月	学園児童		0	
	継	③(国史跡)宇佐美学園体験入園支援	6月	中央区児童		0	
	新	④こどものための「国史跡保存活用計画書」の配布	4月			5,000	
	新	⑤こどものための「中村敬宇の西国立志編」冊子制作	2月			100,000	
小計						105,000	
(2)保全整備事業	継	⑤(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	随時	—		0	教委から協力依頼 ゴミ袋 教委へ報告
	継	⑥(国史跡)「御石公園」清掃	随時	—		1,000	
	継	⑦国史跡看板の破損、汚損等報告	9月	—		0	
小計						1,000	
(3)啓発活用事業	継	⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展	9月	不特定多数		1,000	実行委員会に参加
小計						1,000	
(4)研究事業	新	⑨(国史跡)「保存整備基本計画」作成協力	随時	—		0	作成主体は教委 資料印刷等
	新	⑩(国史跡)「保存整備基本計画」勉強会	随時	諸団体		2,000	
小計						2,000	
(5)その他事業	継	⑪宇佐美城山に係る情報収集等	随時	—		2,000	対策チーム参加 予算編成前
	新	⑫「文化財保存活用地域計画促進協議会」(仮称)設置	10月			1,000	
	継	⑬教育長等へ政策提言	7月			0	
小計						3,000	
合計						112,000	

- \* 1 事業名欄の(国史跡・伊豆古道)の記載は、対象を示すもので、必ずしも両方に関わる事業を実施することをいうことではない。
- \* 2 事業の実施及びその他の活動に係る伊東市・関係者等との日常的な打ち合わせ等については、記載していない。
- \* 3 会員の労務に係る経費(人件費)は計上しない。
- \* 4 事業の実施に係る資料の作成等の軽微な経費は、管理費の内の「事務局経費」に含む。
- \* 5 「継」は、継続する事業(必ずしも毎年度実施しているとは限らない)を示す。「新」は新規事業を示す。
- \* 6 「④中村敬宇の西国立志編」冊子制作の財源は、補助金等見込む。補助金の状況により原稿作成まで。
- \* 7 「⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展」は、「おとなとこどものための郷土歴史文化遺産展」の略
- \* 8 事業番号⑨、⑩、⑫は、伊東市の作業立ち上げ状況に応じて実施する。
- \* 9 事業計画に記載のない事業でも、理事会の承認を得て、年度途中で総予算の範囲内で追加できる。

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和5年度事業の目的(案)

事業区分		事業名	目的
(1)教育事業	継	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(座学・現地見学)	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
	継	②(国史跡)宇佐美学園見学支援	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
	継	③(国史跡)宇佐美学園体験入園支援	実地見学により、児童・保護者の国史跡及び宇佐美学園に対する関心を深める
	新	④こどものための「国史跡保存活用計画書」の配布	令和4年度事業で制作した冊子の有効活用をはかる。
	新	⑤こどものための「中村敬宇の西国立志編」冊子制作	こどもの郷土への愛着と誇りを養う
(2)保全整備事業	継	⑤(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	管理者と協議しつつ維持管理に協力する
	継	⑥(国史跡)「御石公園」清掃	公園管理者と協議しつつ国史跡の玄関口の美化をはかる
	継	⑦国史跡看板の破損、汚損等報告	市の財産である国史跡遺跡看板の良好な維持管理に協力する。
(3)啓発活用事業	継	⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展	宇佐美区、小中学校と共に、市民の歴史に対する関心を醸成する
(4)研究事業	新	⑨(国史跡)「保存整備基本計画」作成協力	教委が行う「保存整備基本計画」の作成に協力する
	新	⑩(国史跡)「保存整備基本計画」勉強会	「保全整備基本計画」について自主的に市民勉強会を企画する
(5)その他事業	継	⑪宇佐美城山に係る情報収集等	宇佐美城山に係る情報収集等を行う
	新	⑫「文化財保存活用地域計画促進協議会」(仮称)設置	市内の歴史文化遺産の計画的、総合的な保存活用計画作成を促進する
	継	⑬教育長等へ政策提言	効果的な文化財行政推進のために政策等の提言を行う

以上